

アリと
アリ

最近『学園新聞』に端を発して、大學自治の問題が大學社会的関心をひいている。よくに學長、学部長などの人事選考に学生参加を説

機動隊でも導入し、
の先頭に立つ。責任
思議な存在である。

うものなら、抗議運動
は感を乗つたくもたない不

紛争中の各大学は、在学生の卒業、漏年、授業再開問題の処理に

四十三年度選講生は文學部七十

「じこだ」と、即ち「ほんの事」。

1

1

おの細かいやむこな

切り捨てられた聴講生

東教大、受講料も返さず

紛争で疲労と興奮

東教大の櫻井教授が急死

卷之二

の信

四

必要な教職員を希望する社会人がほとんどで、年度初めに入学金二千円と一単位当たり四百円の受講料を払っている。

文学部は「在学生の四十三年間、授業の補講はしないと決めていた。」以上、聽講生だけに補講はできることで、入学、受講料は国庫に納入する。

4/3

つてから初の講師
慶子夫人らを歓迎
新井教授は二十八
動議導入問題の事

の話によると、大学への就職を協議した
著者によると、大学への就職を協議した
に「十七日」に行われた所長会議で、学生の補

は早朝から鹿鳴學長
開集会の会場で雪の

再建に断固決意を

國策」から大學の運営に着手し、法の本體も改訂すべきではないかと思つ。彈圧と共に尋ねる一部学生や教員がいかに振舞したかを、真面目に検討してこそ大勢のため、また日本の前途を託すにふさわしい大學再建のため、政府は所圖なる決意をもって大學問題に取り組んでほしい。

(東京教育大教授)

筑波移転をめぐりドロ沼翁が
つづいている東京教育大学連学部
は七日から学内に機動隊を駐留させ
たまつて、四年生と、大学園の授

きょう授業再開

教育大綱 機動隊駐留のまま